

平成 30 年度コミュニティソーシャルワーク事業 実績報告書

1. 総合的福祉相談（詳細は別紙）

	30 年度	29 年度
個別相談支援（延べ件数）	7,517 件	7,254 件

（1）個別相談支援

[相談方法]

	30 年度 (延べ件数)	29 年度 (延べ件数)
電 話	3,637 件	3,787 件
訪 問	1,075 件	1,254 件
来 所	898 件	828 件
出先にて	1,004 件	926 件
相 談 会	131 件	115 件
そ の 他	772 件	344 件
合 計	7,517 件	7,254 件

[対象者]

	30 年度 (延べ件数)	29 年度 (延べ件数)
0～9 歳	89 件	97 件
10～19 歳	185 件	231 件
20～64 歳	2,734 件	2,550 件
65～74 歳	894 件	1,301 件
75 歳以上	1,735 件	1,805 件
不明・団体等	1,880 件	1,270 件
合計	7,517 件	7,254 件

[相談内容] ※重複あり

内 容	件数	内 容	件数
協働・コミュニティ	2,014 件	仕事・就労支援	259 件
健康・医療	1,909 件	届出・証明	211 件
住まい	910 件	成年後見・遺言・相続・保証人	163 件
介護・介護予防	824 件	消費生活・環境・動物	113 件
収入・生活費・債務	645 件	虐待	99 件
子育て・教育	468 件	税・保険・年金	99 件
近隣トラブル	404 件	介入拒否・孤立	95 件
ゴミ・リサイクル	325 件	生涯学習・日本語学習	93 件
安心・安全・防災	332 件	ホームレス	38 件
家族トラブル	290 件	宗教関係	1 件
ひきこもり	280 件	その他	335 件
		合 計	9,907 件

(2) 相談会の開催

	30 年度		29 年度	
	回数	相談者件数	回数	相談者件数
暮らしの何でも相談会	299 回	121 件	293 回	119 件

※区民ひろば 21 か所、その他集会室等 3 か所において開催

2. 地域支援活動（地域を元気にする活動）

(1) 要援護家庭等の子どもへの学習支援活動

【回数・参加者人数】

学習会名	ちゅうりっぷ	にじいろ	あおぞら	合計
開催回数 (回)	24	7	30	61
参加者	子ども	200	663	1,112
延人数	ボランティア等	151	288	597
(名)	小 計	407	951	1,709

【対象】

- ・ちゅうりっぷ学習会（東部地域）
- ・にじいろ学習会（西部地域）
- ・あおぞら学習会（西部地域）

※ちゅうりっぷ学習会は、学習支援ボランティア（チーム「つばめ」）が主体となって企画運営を実施。定期的に打ち合わせ会を開催

【会場】

小学校、区民ひろば、区民集会室、高齢者福祉施設会議室などを使用

【連携・協力した機関等】

小学校、区民ひろば、子どもスキップ、民生児童委員協議会、青少年育成委員会、大学、子ども食堂、地域福祉サポーター、生活福祉課、地域住民 など

(2) 大正大学社会福祉学科サービスラーニング（体験教育）への協力

○テーマ サービスラーニングを通して、コミュニティソーシャルワークについて考える

CSW 圏域	会場	内容	参加者数
東部	区民ひろば南大塚	・区民ひろばプログラムへの参加	78名 ※4クラスが各圏域にわかれて活動
いけよんの郷	区民ひろば池袋	・区民ひろば事業活動への協力	
アトリエ村	区民ひろば富士見台	・CSW事業活動参画	
西部	区民ひろば千早	・区民ミーティング参加など	

※サービスラーニングについて

1980年からアメリカで始まった教育活動の一つであり「社会活動を通して市民性を育む学習」。地域への貢献を育み、地域の結びつきを強化するもの。

(3) 学びあい・支えあいの地域活動

地域住民や民生児童委員、町会・自治会、福祉関係団体等が、小地域でネットワークを構築して、地域課題の共有や、解決に向けた取り組みを行うなど、共に学びあい・支えあう活動を展開した。

①しゃべり場朋有（中央圏域）

目的	区民ひろば朋有運営協議会と社協CSWが協働し、住民同士の話し合い、学び合いの場を設け、世代間交流や顔の見える関係づくりを行う。
内容	<p><第1回>テーマ「認知症の人とのつきあい方」 高齢者総合相談センター職員による認知症サポーター養成講座、グループで意見交換</p> <p><第2回>テーマ「よりよい老後を迎えるために（元気なうちにやっておけること）」 サポートとしまによるお芝居を交えた制度解説、「私の記録帳」説明、サポートとしま事業説明、グループでの意見交換。</p> <p><第3回>テーマ「防災」 DVD観賞/「クロスロードゲーム」を参考にテーマに沿ってグループで意見交換/非常食試食/段ボールトイレ・非常用トイレの消毒・凝固デモシミュレーション。</p>
関係機関・連携	区民ひろば朋有、メロス言語学院、地域生活支援センターこかげ、高齢者総合相談センター、サポートとしま、地域福祉サポーター
実績	日時：年3回 会場：区民ひろば朋有 回数：3回 参加者数：117名

②きんぎょサロン（中央圏域）

目的	年齢・性別に関係なく、社会参加の場・社会貢献の場として、生きがいつくりの一助を担う。地域での交流や他者とのかかわりを求めている方の居場所や仲間づくりの場として位置づける。
内容	エプロン、袋物作成、編み物などの手仕事、切手整理、ベルマーク活動など。製品はフリーマーケット等で販売し、収益は子どもの活動（NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク）に寄付。CSW、区民ひろばの職員が参加者に声掛けをするなどの体制を取り、必要があれば地域福祉サポーターや CSW が声掛け・付き添いを行うなど、ひとりひとりに寄り添い、支援をしている。
関係機関・連携	区民ひろば上池袋、NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク、三寿会（高齢者クラブ）、高齢者総合相談センター、くらし・しごと相談支援センター、豊島ボランティアセンター、あいおいニッセイ同和損保、メロス言語学院
実績	日時：毎週水曜日 14 時～16 時 会場：区民ひろば上池袋 回数：55 回 参加者数：365 名

③麦の家やってみる会（中央圏域）

目的	地域住民が「麦の家」に集い、利用者・地域住民と一緒に制作した看板の補修や様々なものづくり、麦の家の作業手伝い等を行うとともに、利用者との交流をはかる。
内容	流しそうめん、くるみボタンづくり、ビーズコースターづくり、作業のお手伝いなどを行った。
関係機関・連携	民生児童委員、地域福祉サポーター
実績	日時：不定期（月 1～2 回） 会場：地域活動支援センター麦の家 回数：8 回 参加者数：23 名

④ふれあいグループ（いけよんの郷圏域）

目的	主に池袋本町に住んでいる高齢者を元気付けるためのボランティア活動を企画・実施することを目的としている。池袋中学校の生徒と協力し、引きこもりがちな高齢者の見守りや外出機会を創出する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会を毎月 1 回開催し、中学生との見守り活動に関する話し合いや、高齢者を取り巻く現状について学ぶ。高齢者に限らず、池袋本町内の課題についても話し合う。 池袋中学校の学生と連携し、学校のイベント（学習発表会など）を地域住民周知するため、チラシを学生自ら作成し、学区内の家庭に配布する。 池袋中学生と共に、地域住民を招いた茶話会を実施する。茶話会の開催にあたり、中学生と企画会を開く。また次年度の学生に向けて説明会を開催し引継ぎをしていく。
関係機関・連携	高齢者総合相談センター（中央・いけよんの郷）
実績	日時：月 1 回 19 時～20 時 30 分 会場：池袋本町コミュニティセンター隣 回数：16 回 参加者数：90 名 協力者数：341 名

⑤池袋本町一丁目町会地域見守り検討会（いけよんの郷圏域）

目的	子どもから高齢者までの誰もが安心安全に暮らせる町会を目指す。全世帯を町会員と認識し、地域から孤立を防ぐ支援を「きずなサロン」を軸にじっくり継続的に行う。地域福祉活動を行っている関係者がお互いに横のつながりを持ち、連携・協働し、地域の実状に合った「支えあい」のしくみを作る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「見守り対象者名簿」と「見守りマップ」を作成し、半年に1回を目途に情報交換を行いながら名簿の更新を行う。 ・メンバーが担当地域を持ち、「きずなサロン」のチラシを配布する。ポストにただ投函するのではなく、直接手渡しすることを大切にしている。 ・地域課題について話し合う。 ・「きずなサロン」について議論する。今年度は、「きずなサロン」に関するアンケートを実施し、サロンに参加していない住民の声を拾い上げた。
関係機関 ・連携	高齢者福祉課、高齢者総合相談センター
実績	日時：偶数月の第3土曜日 10時～12時 会場：池袋本町第2区民集会室 回数：6回 参加者数：105名

⑥集合住宅における茶話会（アトリエ村圏域）

目的	マンションに暮らす高齢者（特に一人暮らし）を中心に参加を呼び掛け、閉じこもりや孤立を防ぎ、住民同士の交流を通して居場所や仲間づくりの場とする。また、必要に応じてマンション住民以外の地域住民も受け入れることで、マンションと地域の住民間の交流を図る。区民ひろばを開催場所とすることで、地域に出るきっかけづくりとする。
内容	お茶を飲みながら話をしたり、折り紙や手芸、座ってできる体操などを行う。
関係機関 ・連携	高齢者総合相談センター見守り支援事業担当、区民ひろば富士見台
実績	日時：毎月第4木曜日 13時30分～14時30分 会場：区民ひろば富士見台 回数：12回 参加者数：32名 協力者数：34名

⑦ゆったり茶の間<集合住宅コミュニティ活性化支援>（西部圏域）

目 的	集合住宅内でのつながりが希薄化している中、一人暮らしの孤立化や複合的な課題がある世帯などもある。集合住宅内の生活課題等のニーズ把握や住民同士のつながり、自治会の活性化などを目的とし、茶話会形式の「暮らしの何でも相談会」を開催する。
内 容	集合住宅内の住民同士や世代間の交流の活性化になるように、映画上映会やおにぎり会といった食事会、子どもたちの水遊びなど、さまざまな企画を自治会と参加者（住民）と共に検討して、実施している。集合住宅の地域課題や生活課題について、自治会と住民が共有し検討する場にもなっている。
関係機関 ・連携	民生児童委員、高齢者総合相談センター、地域住民
実 績	日時：毎月 1 回 会場：都営住宅内集会室 回数：10 回 参加者数：139 名 協力者数：31 名

⑧地域貢献検討会議（小地域福祉活動ネットワーク会議）（西部圏域）

目 的	小地域福祉活動のネットワークを構築し、小学校区程度で地域の様々な生活課題や地域課題を共有、解決に向けた検討することを目的とする。
内 容	千川の杜（高齢者施設）を地域の拠点と捉えて、地域住民、民生児童委員、地域福祉サポーター、高齢者総合相談センター等の地域と関係機関が一同に顔を合わせる小地域福祉活動のネットワーク構築をしている。小地域エリアの様々な生活課題や地域課題を共有し、解決に向けた取り組みや仕組みについて検討する。具体的な取り組み案が挙げた場合は、その都度、部会を立ち上げて、企画検討していく。
関係機関 ・連携	千川の杜、民生児童委員、地域福祉サポーター、地域住民、高齢者総合相談センター、せんかわみんなのいえ保育園
実 績	日時：奇数月第 4 火曜日 10 時～12 時 会場：千川の杜地域交流スペース 回数：6 回 参加者数：79 名

(4) サロン活動等の立ち上げ・運営支援

地域住民が中心となって実施している、もしくはこれから実施したいと考えているサロン活動等の地域活動について、CSW が立ち上げや運営の支援を行った。

①アトリエ色えんぴつ（豊島区医師会圏域）

目的	障がいのあるなしに関わらず、地域で安心して生活ができ共生する社会、当たり前の幸せを望み、アートを通して障がいのある人と地域をつなぐコミュニティ作りを目的とする。
内容	刺し子や書道のワークショップを実施。ワークショップを通して、地域の方と障がい当事者親子がコミュニケーションをとりながら、一緒に制作を行っている。地域の身近な場所で、障がい者も住民も共に活動することで、障がい者理解の促進が期待できる場となっている。
協力者	民生児童委員、NPO 法人としま NPO 推進協議会、高齢者総合相談センター見守り支援事業担当、心身障害者福祉センター第三者委員
実績	日時：月 1 回不定期 13 時～15 時 会場：主催者所有アパートの一室 回数：5 回 参加者数：58 名 協力者数：10 名

②きずなサロン（いけよんの郷圏域）

目的	「池袋本町一丁目町会に住む方々のきずなが深まれば」という願いを込めて開催されている。町会加入に関わらず参加が可能とし、サロンを通して地域が一体となり安心・安全な生活ができることを目的としている。
内容	昔懐かしい映画鑑賞会、楽器演奏や歌の披露など、毎回工夫を凝らした出し物を行っている。また、としまる体操や輪投げ、近所の公園に散歩に行くなど、体を動かすプログラムを意識的に取り入れている。季節に合わせた茶菓子をメンバーが準備し、お茶を飲みながら、参加者同士、または参加者とメンバー同士が交流を深めている。11 月に開催した食事会をでは、配食弁当をメンバーが手配し、参加者を知ってもらう機会ともなった。食後は高齢者向けの栄養に関する講座を開催した。
協力者	高齢者福祉課、高齢者総合相談センター
実績	日時：偶数月の第 3 土曜日 13 時～15 時 会場：池袋本町第二区民集会室 回数：7 回 参加者数：117 名 協力者数：132 名

③にこにこ食堂（西部圏域）

目的	地域で孤立しがちな高齢者や子育て世代に対し、「地域のリビング」として見守りを兼ねた食事の提供を目的としている。
内容	見守りを兼ねた食事会の実施。また、にこにこ食堂のメニュー決め、地域で気になる人に参加してもらうために無料で招待する「おさそいチケット」の発行などを行う。
協力者	金剛院、民生児童委員、地域福祉サポーター、地域住民、高齢者総合相談センター
実績	日時：毎月最終金曜日 11 時 30 分から 13 時 会場：金剛院 檀信徒会館 蓮華堂 回数：3 回 参加者数：69 名 協力者数：41 名

(5) 個別及び地域課題の把握のための活動

CSW が、個別及び地域課題の把握や、地域住民同士の顔の見える関係づくりなどを目的として、茶話会等を実施した。

①茶かもん会（菊かおる園圏域）

目的	日ごろちょっと気になる話題などを、昔ながらの井戸端会議のようにお茶を飲みながら、堅苦しくない雰囲気ですることにより、情報交換を行うとともに、お互いが顔の見える関係を築き、地域力向上につなげる。
内容	地域住民の身近な課題をテーマとして設定し、関係機関や組織内職員あるいは地域住民などに講師を依頼して、終了後に茶話会を行う。参加者が、テーマについてのみならず、日ごろから気になっていること等を気軽に話せる場としている。 第1回：人生100年時代を賢く生きる（地域福祉サポーターによるFPの話） 第2回：作って飾る折り紙（地域住民による折り紙教室） 第3回：今日からあなたも国際人『国際マナー』（民生児童委員によるマナー講座）
関係機関・連携	高齢者総合相談センター、区民ひろば西巣鴨、民生児童委員、地域福祉サポーター、地域住民
実績	日時：年3回（日時はその都度調整） 会場：区民ひろば西巣鴨第一 回数：3回 参加者数：44名 協力者数：10名

②おおつか茶かもん（東部圏域）

目的	生活に役立つことをテーマにした茶話会を区民ひろばで開催することで、今までひろばを利用しなかった層に働きかけ、参加者同士の顔と顔の見える関係作りを目指す。
内容	毎回生活に役立つことをテーマにして、講師に分かりやすく伝えてもらい、お茶を飲みながら参加者同士の交流を図る。 第1回 「歌ってたのしい手話講座（高齢者向け）」（大正大学手話サークル Pocky） 第2回 「たのしい折り紙教室」（民生児童委員） 第3回 「歌ってたのしい手話講座」（親子向け）（大正大学手話サークル Pocky）
関係機関・連携	区民ひろば南大塚、大正大学手話サークル Pocky、地域福祉サポーター、民生児童委員
実績	日時：不定期（日時はその都度調整） 会場：区民ひろば南大塚 回数：24回 参加者数：47名 協力者数：23名

③みみよりサロン～暮らしとお金の勉強会～（西部圏域）

目的	高齢者の詐欺被害、相続や税金等、身近な暮らしに関わるお金について、「自分の資産（お金）を守ること・活かすこと・増やすこと」をテーマに、住民学習会を催す。また、参加者同士で経験談や対策方法等を共有し、資産に関する意識の向上を図る。
内容	ファイナンシャルプランナーの資格をもつ地域福祉サポーターが講師となり、参加者の関心事や困っている事例をもとに、暮らしに役立つ耳寄りな情報を提供している。
関係機関・連携	地域福祉サポーター（ファイナンシャルプランナー）、区民ひろば千早
実績	日時：毎月第1水曜日 10時～12時 会場：区民ひろば千早 回数：8回 参加者数：54名 協力者数：29名

（6）「学生出前定期便」への支援（菊かおる圏域）

大正大学学生によるボランティア活動『学生出前定期便』について、相談者からの申込受付をCSWが行い、活動を通して利用者の生活状況やニーズを把握、必要に応じて関係機関へつなぐ。行政によるサービスに抵抗感を示す住民へのアプローチなど、個別訪問が難しかった支援対象者の実態把握を行うことができた。また、活動のPRと住民と学生の交流を目的として、サロンを実施した。

活動日時	活動範囲	活動内容	活動件数 (延べ)	活動者数 (延べ)
木曜日 11時～12時30分 金曜日 13時～16時	大正大学周辺	概ね30分程度で行える作業 ・電化製品の説明 ・草むしり ・電球の取り換え ・話し相手 等	84件	252名

【サロン】

会場	回数	参加者数	参加者属性
都営西巢鴨二丁目 アパート集会室	1回	19名	地域住民、学生、地域福祉サポーター、 高齢者総合相談センター職員 など
都営北大塚一丁目 アパート集会室	1回	30名	

3. 地域福祉サポーターの養成及び活動の推進

(1) 登録者

登録者数：個人 296名 法人 1団体（609名）

【属性】

個人：一般区民、大学生、元民生児童委員、ハンディキャブ利用会員、金融機関職員、NPO法人職員、弁護士、司法書士、社会福祉士、看護師、税理士、ファイナンシャルプランナー、ケアマネジャー、僧侶 など

法人：生命保険会社

【個人登録者 性別・年代】 最年少：22歳 最高齢：89歳 平均年齢：約62歳

性別 年代	男	女	計	割合
10代	0名	0名	0名	0%
20代	3名	4名	7名	2.4%
30代	8名	5名	13名	4.4%
40代	15名	11名	26名	8.8%
50代	24名	42名	66名	22.3%
60代	44名	49名	93名	31.4%
70代	24名	45名	69名	23.3%
80代	6名	16名	22名	7.4%
計	124名	172名	296名	100%
割合	41.9%	58.1%	100%	

(2) 説明会

実施回数：4回（その他、随時実施）

仮登録者：18名

内容：①地域福祉サポーター活動の趣旨説明

②意見交換

(3) スタート研修

実施回数：個人向け3回 法人向け3回

受講者数：個人27名 法人115名

修了者数（登録者数）：個人26名 法人115名

内容：①講義：豊島区の現状と課題、地域福祉サポーターについて など

講師：豊島区民社会福祉協議会 職員

②グループワーク「私たちが暮らすまちの中で起きている生活課題」

③連絡事項、修了証書授与

(4) テーマ別学習会

実施回数：3回

延べ参加者数：76名

内容：テーマ別の講義、グループワーク 他

1	開催日時	平成30年7月27日(金) 14:00~16:00
	会場	としま南池袋ミーティングルーム 302会議室
	テーマ	すべての人に安心できる居場所を～元・路上生活者の視点から～
	講師	株式会社MC Median 五十嵐 佐京氏 他
	参加者数	22名
2	開催日時	平成30年11月8日(木) 18:45~20:45
	会場	大正大学7号館 755教室
	テーマ	～ひとりで悩まないで～ “にんしんSOS東京” はすべての妊婦に寄り添い、あなたの選択を尊重します
	講師	にんしんSOS東京 中島 かおり氏
	参加者数	24名
3	開催日時	平成31年2月18日(月) 14:00~16:00
	会場	健康プラザとしま7階 上池袋コミュニティセンター
	テーマ	豊島区にずっと住み続けるために ～認知症の人の気持ち・思いを理解して関わる～
	講師	地域密着型複合施設マザアス新宿 施設長 高岡 宏氏
	参加者数	30名

(5) 圏域ごとの交流会

サポーター活動に関する情報交換などを行い、身近な地域（CSW圏域単位）で地域福祉サポーター同士の交流を深めた。また、隣接圏域単位（ユニット）でも実施した。

実施回数：回

延べ参加者数：名

内容：地域福祉サポーター活動に関する意見交換、交流 他

CSW 圏域	回数	延べ参加者数
菊かおる園	2回	12名（男7名、女5名）
東部		
中央	1回	5名（男5名、女0名）
ふくろうの杜		
豊島区医師会	1回	6名（男1名、女5名）
いけよんの郷	1回	3名（男1名、女2名）
アトリエ村	2回	20名（男7名、女13名）
西部	—	—
合計	7回	46名（男21名、女25名）

4. 「福祉なんでも相談窓口地区連絡会」の開催

区内の26社会福祉法人の連携による「福祉なんでも相談窓口」事業において、窓口設置法人と8地区ごとに連絡会を実施。事業実施状況の確認の他、地域課題に関する情報交換などを行い、潜在的なニーズの掘り起こしや多職種・多機関のネットワークづくりを行った。

実施回数：16回

延べ参加者数：104名（内、社協職員45名）

内容：「福祉何でも相談窓口」実施状況・意見交換、地域課題等に関する情報交換 他

地区	会場	回数	出席者数 (内、社協職員数)
菊かおる園	菊かおる園	2回	10名(6名)
東部	駒込福祉作業所	2回	10名(5名)
中央	東池袋桑の実園	2回	13名(6名)
ふくろうの杜	敬心苑	2回	14名(4名)
豊島区医師会	いけぶくろの家	2回	13名(6名)
いけよんの郷	シオンとしま	2回	14名(5名)
アトリエ村	アトリエ村	2回	17名(6名)
西部	千川の杜	2回	13名(7名)
合計		16回	104名(45名)

5. 福祉意識の醸成を図るための活動

地域住民の福祉意識の醸成や、コミュニティソーシャルワーク事業に対する認知度の向上を図るために、地域共生やソーシャルインクルージョンをテーマとした映画上映会を実施した。

テーマ	『みんなの学校』上映会
開催日時	平成31年3月11日(月) 午前の部：10時～12時 午後の部：13時30分～15時30分
会場	区民ひろば千早
参加者	午前の部：56名 午後の部：50名 計：106名

6. 地域アセスメント及び地域情報の発信

地域の実態把握、社会資源調査・ヒアリングの実施、関係機関との連携・協議を行い、地域課題の把握、新たなしくみづくり等の検討、地域支援活動を展開した。

また、区内で行われている集いの場やサロン活動、活動者について取材を行い、「トモニーつうしん特集号」等を作成した。

【トモニーつうしん特集号】

発行日：平成 31 年 3 月 22 日

装丁：タブロイド判、カラー、4 ページ

発行部数：85,000 部

配布方法：新聞折り込み、区民ひろば等各窓口など

MAP 掲載団体／136 団体

7. コミュニティソーシャルワーク活動紹介冊子の作成

豊島区におけるコミュニティソーシャルワーク実践を、地域住民や関係者に分かりやすく紹介するために、実際の活動事例や実績などをまとめた冊子を作成、配布した。

発行日：平成 30 年 7 月

発行部数：1,500 部

配布先：地域住民、民生児童委員、区民ひろば、区関係部署、福祉関係団体など

8. CSW スーパービジョン体制の充実

コミュニティソーシャルワーク実践の質の向上を図るために、スーパーバイザー（学識経験者 2 名）によるスーパービジョンを受けた。また、職員間で実践上の課題共有や、解決策の検討などを行った。

スーパーバイザー会議：1 回

CSW 会議：12 回

事例検討会議：12 回